

あきる野市教育委員会 3 月定例会会議録

- 1 開催日 令和 8 年 3 月 2 4 日（火）
- 2 開催時刻 午後 2 時 0 0 分
- 3 終了時刻 午後 2 時 4 0 分
- 4 場所 あきる野市役所 5 階 5 0 5 会議室
- 5 日程

日程第 1 議案第 7 号 あきる野市文化財保護審議会委員の委
嘱について

日程第 2 報告事項（1）第 2 次あきる野市立学校における働き
方改革推進プランについて

日程第 3 教育長及び教育委員報告
- 6 出席委員

教 育 長	丹 治 充
教育長職務代理者	小 西 フミ子
委 員	岡 部 秀 敏
委 員	田 島 弘 之
- 7 欠席委員

委 員	廣 瀬 加代子
-----	---------
- 8 事務局出席者

教 育 部 長	鈴 木 将 裕
指 導 担 当 部 長	三 品 孝 之
生涯学習担当部長	遠 藤 文 寛
教 育 総 務 課 長	木 村 紋 子
教育施設担当課長	坂 本 雅 典
学校給食センター建設準備担当課長	和 田 達 也
指 導 担 当 課 長	佐 藤 宗一郎
学 校 給 食 課 長	田 倉 崇 史
生涯学習推進課長	石 川 尚 昭
スポーツ推進課長	一 瀬 秀 和
図 書 館 長	青 木 邦 彰
指 導 主 事	近 藤 壮一郎
指 導 主 事	貝 賀 健 史
- 9 事務局欠席者 なし

開会宣言 午後 2 時 0 0 分

教育長（丹治 充君）

皆さん、こんにちは。例年よりも若干早い桜の開花で、いよいよ春らんまんの季節を迎える中で、本日は小学校の卒業式、それから、先般は中学校の卒業式、教育委員会告辞のご挨拶をいただきまして、大変お疲れさまでした。また、今日は午前中に引き続きの会議となりますけれども、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、ただいまから令和 8 年あきる野市教育委員会 3 月定例会を開会いたします。

本日は廣瀬委員から欠席届が提出されておりますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 14 条第 3 項に規定する定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

それでは、議事日程に従って会議を進めてまいります。

まず、議事録署名委員については、岡部委員と田島委員を指名いたします。

それでは、早速議事に入ります。

日程第 1 議案第 7 号あきる野市文化財保護審議会委員の委嘱については、人事案件となりますので、非公開で進めますけれども、本日は傍聴がおりませんので、このまま続けて議題に入ってまいります。

それでは、あきる野市文化財保護審議会委員の委嘱についてを上程いたします。

それでは、説明を生涯学習担当部長にお願いします。

生涯学習担当部長。

＝非公開＝

教育長（丹治 充君）

異議なしと認めます。

日程第 1 議案第 7 号あきる野市文化財保護審議会委員の委嘱については、原案のとおり承認されました。

続きまして、日程第 2 報告事項（１）、第 2 次あきる野市立学校における働き方改革推進プランについて、報告者は説明をお願いいたします。

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

それでは、報告事項（１）、第 2 次あきる野市立学校における働き方改革推進プランについてを説明させていただきます。

あきる野市立学校における働き方改革推進プランにつきましては、平成 31 年 3 月に策定し、これまで本市における教職員の働き方に関して環境を整備することにより、教職員一人一人が本市の教育目標の実践に向け従事できるように取り組んでまいりました。

令和 7 年 6 月、国は学校教育の質の向上と学校における働き方改革のさらなる加速化、組織的な学校運営及び指導の促進並びに教員の処遇改善を一体的・総合的に進めるため、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法

律」、いわゆる「給特法等一部改正法」を公布し、令和８年４月１日から施行されることとなりました。

これを踏まえ、給特法等一部改正法第１条により新設された「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」第８条第１項において、教員の服務を監督する教育委員会は、文部科学大臣が給特法第７条に基づき定める「公立学校の教育職員の業務量の適切な管理その他教育職員の服務を監督する教育委員会が教育職員の健康及び福祉の確保を図るために講ずべき措置に関する指針」に即して、業務量管理・健康確保措置実施計画を定めるものとされたことから、本市公立小中学校校長会、副校長会の代表者及び教育委員会事務局職員による検討委員会による検討を経て、このたび第２次あきる野市立学校における働き方改革推進プランを策定いたしました。

今プランの主な改訂内容は、達成目標に令和１１年度までに１年間における教員の１か月時間外在校時間等時間を平均３０時間程度に削減することを明記したこと、また、学校等教師の「業務の３分類」を踏まえた業務の見直しに関する内容を追加したこととなります。

報告は以上となります。よろしくお願いいたします。

教育長（丹治 充君）

それでは、これから質疑に入りたいと思います。各委員の皆さんで何か質問等ございますでしょうか。

小西委員。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

すみません、私の読解力も悪いのかと思うのですが、５ページのストレス状況について２点ほど分からないのですけれど、この真ん中辺りに書いてある「中学校においては、「上司からの支援」と「同僚からの支援」でストレス度が高かった」ということが、どういうことなのかということが１つ。そして、その上の教職員のメンタルヘルスについてのチェックの中で、これは正職員だけで非常勤講師等はアンケートの対象外になっているのか。その２つをお伺いしたい。

教育長（丹治 充君）

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

まず、最初のご質問、令和６年度の分析結果の中で、「中学校においては、」ということの位置だと思いますが、職場環境によるストレスという項目がございまして、その中で「上司からの支援」でのストレスが高くというのは、上司から本来支援をたくさんしてもらう、配慮してもらうだとか、そういった観点で若干ストレスを感じる、してもらっていないというような感覚を持っている職員がいるという傾向が出ていると判断しています。そういった意味で、さらに「活気」と「疲労感」でストレス度が低いという結果、これは、この職務に対しての「活気」と「疲労感」についてはストレスが低いのですが、その支援体制だとか、環境整備とか、そういったところが、ややしてもらっていないというような観点でストレスが高いという傾向が若干、出ているということになります。こちらのストレスチェックについては、基本的に正規教員が受けております。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

はい、分かりました。ありがとうございました。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

はい。

教育長（丹治 充君）

そのほかございますか。

委員（田島弘之君）

1点、よろしいでしょうか。

教育長（丹治 充君）

はい。田島委員。

委員（田島弘之君）

12ページの関連する取組、今後のフォローアップについて（2）の学校を支える人員体制の確保のイのところですか。4人体制となったスクールソーシャルワーカー（SSW）について、各中学校区に1人で合計6名の配置を目指すということになっておりますが、単純に考えますと、学校は生徒数等が当然違ってきますので、学校ごとに1名を配置するとなると、その仕事の量や質にアンバランスが生まれてしまうのではないかと思いますので、そのあたりはいかがでしょうか。

教育長（丹治 充君）

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

こちら予算上は、現在は5名体制の予算を取っております。今おっしゃるとおり、1校に1人という考え方よりも、一応校区ということで中学校6校ございますので、中学校6校にそれぞれの校区として、これは小学校も含むというような形で考えております。ただ、現状は指導室のほうに基本的な勤務場所を持ち、その担当エリアを4人で分けているような状況ですので、将来的に順次増やしていきつつ、校区の担当を明確にすることで、ケアをしっかりとさせていくというような考えで、この6人というような目安を持っております。あくまでも目安となりますので、先ほどお話しいただきました生徒数、児童数の観点で割が合わない場合については柔軟に対応していく予定で考えております。

以上でございます。

委員（田島弘之君）

はい。ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

委員（田島弘之君）

はい。

教育長（丹治 充君）

そのほかございますか。

岡部委員。

委員（岡部秀敏君）

1点、13ページの(5)、学校における働き方改革に関する取組の周知ということで載せていただけていますが、場合によっては地域行事だとか、そのほかの行事に学校は協力的ではないというような声も出かねないのですが、その辺の対策についてはいかがお考えでしょうか。

教育長（丹治 充君）

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

今お話しいただいたことは懸念しますので、必ず異動等で入ってきた、特に管理職については、こういった地域性のよさ、これまで取り組んできた地域とともにある学校のよさということを強調して周知しております。一方で、今お話しいただきました、こちらの周知というものは市民全体に対して、今後こういった給特法の関係での取組ということも理解していただくということも必要となってくることから、今後ホームページや広報紙も含めて相互のご理解をいただけるように進めていくという配慮を考えております。

以上でございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

委員（岡部秀敏君）

ありがとうございます。よろしくお願いいたします。

教育長（丹治 充君）

ほか、ありませんでしょうか。

委員（田島弘之君）

あと1点、お願いします。

教育長（丹治 充君）

はい、田島委員。

委員（田島弘之君）

戻りまして10ページです。ウの教師の業務の、負担軽減を促進すべき業務のところです。資料のひし形の2番目「支援が必要な児童生徒・家庭への対応」で、「スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー等の」「校内会議の参加の促進」とあります。それから、ほかの関係諸機関との連携のこともあると思いますが、現在既にこのスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等が学校の校内会議、校内支援で既に参加している学校はございますか。

教育長（丹治 充君）

指導担当部長。

指導担当部長（三品孝之君）

今お話いただきました、いわゆる特別支援教育校内委員会といったものを定期的に全ての学校で開催しており、その際にスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを取り入れた形の会議を、全ての学校で何らかの形で年間を通して行っております。また、

下のほうに出てくる「医療・福祉・警察等の関係機関」というものは、いわゆる児童相談所や、こども家庭センターなどの関係機関を含めたケース会議を開く際に、教員だけで進めることのないような組織的な対応ということで連携をした会議を行っております。

以上でございます。

委員（田島弘之君）

ありがとうございます。これが本当に徹底していくとすばらしい取組になると思います。学校の先生方も知識はあっても、実際の対応の場面では、この場でどう動いたらいいかというのが、慣れていない先生や特に若い先生は多いと思うので、そういう場で研修しながら先生方の資質向上を目指していただけるとありがたいです。お願いいたします。

以上です。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

委員（田島弘之君）

はい。

教育長（丹治 充君）

ほか、ありませんでしょうか。

小西委員。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

先ほどの少し戻って、お聞かせいただきたいのですが、ストレスのアンケートは、正職員だけということでしたよね。でも、私が実際に直接お話を伺うのは非常勤の方からなんです。正職員の方は、絶対に私には言わないと思います。非常勤の方だから、授業参観の一般公開のときに言ってくださる。それに2校の職員の合計3人からお聞きしました。そういう非常勤の方たちの気持ちも何か集約できたらいいのではないかと思います。これは意見としてお願いします。

教育長（丹治 充君）

この非常勤職員に対する、ストレスへの対応について。指導担当部長お願いします。

指導担当部長（三品孝之君）

今お話しいただいた、恐らく教員だけでなく、学校には、今、会計年度任用職員といった支援員や補助員、介助員など、様々な職種も入っていますので、それを含めた全ての学校職員に対する予算を使つてのストレスチェックについては、学校全体の組織的な体制ということで適宜声を聞いたり、また、その意見を聞く中で組織運営をしていくということで、今後、校長会を通じて周知徹底させていきたいと思います。ありがとうございます。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

よろしいですか。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

はい、大丈夫です。

教育長（丹治 充君）

そのほかいかがでしょうか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、本件は報告として賜りました。

以上で日程第2 報告事項（1）のは終わりにしたいと思います。

続きまして、教育長及び教育委員報告に入りたいと思います。

それでは、私から報告をさせていただきます。3月1日に青梅の鉄道公園がリニューアルされ、一般公開の前の内覧会に行っていました。特にこの施設については、小学生の遠足等で活用されておりますので、どの程度変わったのか見学をさせていただきました。特に鉄道マニアの皆さんから見ますと、大変貴重な蒸気機関車群が、あるいはその電車群を拝見できたということで、小学生から幼稚園等の児童まで大変興味関心が高い施設ではないかなということで見えてまいりました。

それから、3月19日、来年、東京を拠点とするプロ野球の独立リーグ、ルートインBCリーグ加盟を目指しております東京レジデンシャルチームのアドバイザー就任に伴う元読売巨人軍の槇原氏が中嶋市長のところに表敬訪問が行われました。今後、市民球場が本球場として使用される予定であり、西多摩に縁のある選手の採用や、あるいは球団職員の雇用もあきる野市民から考えてもみたいというようなお話をお聞きしました。また、この件で質問があれば、一瀬課長が担当になりますので、後で聞いていただきたいと思います。

それから、3月21日、令和7年度をもって、すぎの子保育園が閉園の運びとなり、ここで園児1名の卒園式ということで行ってまいりました。この卒園式が終わった後に、今度は閉園式が行われまして、地域の皆さん方が大勢参加され57年間にわたる保育の歴史を懐かしみながら写真に収めていました。時の移ろいを感じさせられた行事でありました。

私からは、以上であります。

続いて、小西委員、ご報告ありましたらお願いします。

教育長職務代理人（小西フミ子君）

2つほど。この中には、私、載せていないのですが、3月18日に新宿のミラノ座で「HANA」という劇と、東北のお祭りとして客席全員が参加する太鼓とちょうちんとうちわで踊ったり、叩いたりするイベントがありました。また、わらび座の俳優たちのすばらしい公演がありまして、その主役は多西小出身の小山雄大君で、そのお母さんと私はお友達なので、連絡があり、その小山雄大君は14年間続けて主役をされているのですが、ものすごく感動する劇をしてくださいました。踊りも太鼓も動きもとってもすてきで。それこそ前にもお話したかもしれないですが、高校生のときから、僕は絶対わらび座に入るんだって太鼓を習っている男の子だったんです。現に主役として頑張っているあきる野市出身ですてきな方を報告したかったことが1つです。

それから、今日の屋城小の卒業式について、小瀬水校長先生が、最初、本当に初めてなのよ、緊張するのよとおっしゃっていたんですが、とってもいい式でした。校長先生の辞として、30名の児童全員に対して、誰々君はこうだったね、あのときこういうふうに動いてくれたよね、何々さんはこうだったね、よかったよなど、全員分を校長先生の言葉で、何げない日常のことをお話しされたのを初めて聞きまして、何かほんわかしてぐっと

きてとってもいい式だったと思いました。何か校長先生も児童のことをこうやって見ているんだよと言われた子どもたちはとっても思い出としていい卒業式だったんだろうなと思いつながり帰ってきました。

以上です。

教育長（丹治 充君）

感動的な卒業式ですね。

教育長職務代理者（小西フミ子君）

感動でした。本当によかったです。

教育長（丹治 充君）

それでは、続いて、岡部委員お願いいたします。

委員（岡部秀敏君）

それでは、私からは1点、ある議員さんから、イオンホールで熊についての講演会があるから聞きに来ないかということで、3月14日、聞かせていただきました。やはりこのあきる野市でも熊が出たりということで、有害鳥獣対策議員連盟の方が呼びした熊の専門家、東京農業大学の先生のお話で、一番印象に残ったのは東京都には熊を撃てるハンターが10人しかいないということで、これは大変だなというふうに思いました。お話はとても上手で、2時間たっぷり聞かせていただきました。ためになった講演だったなというふうに思いました。ということで1点報告させていただきます。

以上です。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

それでは、続いて田島委員、よろしくお願いします。

委員（田島弘之君）

まとめると1つなんですけれども、合唱コンクール、それから小中の卒業式を通して感じたことです。市内の子どもたちの合唱の歌のレベルがすごく高いのではないかと、ここ一、二年思うんです。本当に声の発声から伸びやかで、きれいで、女声も男声もですけれども、それをここ一、二年特に感じています。3月に中学校の合唱コンクールが多かったのですが、どこの中学校も本当に声のきれいさとか、合唱の技術の見事さを感じてきました。特に東中学校では入退場もクラスごとに、自分のクラスの番が来ると、全員がずっと席から立って、ずっと移動して、入場していました。また、戻ってくるとばらばら座らないんです。ずっと入って、全員そろったところを見て、全員がずっと座るという、そういうような指導もされているという姿を見ることができて、大変感動しました。歌の質もそうですけれども、入退場の指導まで行き届いているなと感じました。

また、同じく東中で不得意な生徒が歌っているのが分かるクラスもあったのですが、それも、クラス全体で支えて包み込むような雰囲気と、とにかく「クラス全員で歌うのだ」というようなところが見えました。教育長がお帰りになられた後のクラスだったので、観ていただけず残念でしたが、そういう集大成の場面をたくさん観ることができてありがたいと思います。

それから、中学校の卒業式、それから、今日小学校の卒業式がありましたが、ここでも、

やはり合唱が見事でした。本当にどこに出しても恥ずかしくないレベルだと思いました。
今日の南秋留小などでは5、6年の歌の掛け合いがあり、息の合った、本当にきれいな合唱が仕上がっておいりましたので、これをどこの学校でも、こういうような体制を続けていただいて伝統になればありがたいなと思った次第です。

ありがとうございます。

教育長（丹治 充君）

教育委員さんのほうで、ほかありませんか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

報告は以上を持って終了させていただきたいと思います。

最後に、事務局から今後の日程等についてのご案内をお願いいたします。

教育総務課長。

教育総務課長（木村紋子君）

それでは、今後の日程等についてご案内をさせていただきます。

3月31日火曜日の午後2時30分から、退職教職員の辞令伝達式を予定しております。

4月1日水曜日、午後1時30分から教育管理職辞令伝達式、午後2時30分から新規採用教職員辞令伝達式が両日とも503・504会議室で開催されます。

次に、4月6日月曜日、小学校入学式、翌日7日火曜日、中学校入学式が開催されます。

次に、4月14日火曜日、東京都市教育長会定例会・総会が東京自治会館にて開催されます。

4月15日水曜日、教育委員会歓送迎会がトラストルピアにて開催されます。

最後に、次回4月の定例会でございますが、4月21日火曜日、午後2時から、505会議室で開催いたします。

私からの案内は以上となります。

教育長（丹治 充君）

ありがとうございました。

そのほかありませんか。

《なし》

教育長（丹治 充君）

それでは、以上をもちまして、あきる野市教育委員会3月定例会を終了いたします。

閉会宣言 午後2時40分